

[大豆] 1. 平成28年度の作付面積は全国で150,000haで、前年より8,000ha増加した(前年対比106%)。九州では22,200haで、前年より300ha増加した(前年対比101%)。九州では佐賀、長崎、大分の各県で作付面積がやや減少した。増加率が最大の熊本では590ha増の28%であった。その他の県ではほぼ前年並みであった。また沖縄は前年と同じ1haであった。

2. 本年は梅雨明けが早く、7月中旬頃から10月の開花期に、日照不足による生育遅延が、9月以降に顕著な影響を及ぼした。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。

3. 本年は梅雨明けが早く、7月中旬頃から10月の開花期に、日照不足による生育遅延が、9月以降に顕著な影響を及ぼした。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。

4. 本年は梅雨明けが早く、7月中旬頃から10月の開花期に、日照不足による生育遅延が、9月以降に顕著な影響を及ぼした。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。

5. 本年は梅雨明けが早く、7月中旬頃から10月の開花期に、日照不足による生育遅延が、9月以降に顕著な影響を及ぼした。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。

6. 本年は梅雨明けが早く、7月中旬頃から10月の開花期に、日照不足による生育遅延が、9月以降に顕著な影響を及ぼした。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。

7. 本年は梅雨明けが早く、7月中旬頃から10月の開花期に、日照不足による生育遅延が、9月以降に顕著な影響を及ぼした。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。

8. 本年は梅雨明けが早く、7月中旬頃から10月の開花期に、日照不足による生育遅延が、9月以降に顕著な影響を及ぼした。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。

9. 本年は梅雨明けが早く、7月中旬頃から10月の開花期に、日照不足による生育遅延が、9月以降に顕著な影響を及ぼした。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。

10. 本年は梅雨明けが早く、7月中旬頃から10月の開花期に、日照不足による生育遅延が、9月以降に顕著な影響を及ぼした。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。九州北部の後半期は、曇りや雨が多く、生育が遅延した。九州南部の前半期は、晴天が多く、生育が早かった。

(大豆・資源作物育種グループ 高橋 将一)

平成28(2016)年度大豆作付面積と収穫量

県別	作付面積	10a当収量	収穫量	10a当平均収量 対比	前年との比較				
					作付面積		10a当収量	収穫量	
					対差	対比	対比	対差	対比
	ha	kg	t	%	ha	%	%	t	%
全国	150,000	157	235,500	91	8,000	106	92	△ 7,600	97
九州	22,200	140	31,000	75	300	101	101	600	102
福岡	8,430	144	12,100	77	0	100	104	500	104
佐賀	8,370	148	12,400	70	△ 160	98	92	△ 1,300	91
長崎	438	119	521	95	△ 28	94	151	153	142
熊本	2,680	149	3,990	85	590	128	120	1,400	154
大分	1,720	86	1,480	79	△ 50	97	91	△ 180	89
宮崎	261	79	206	59	7	103	81	△ 40	84
鹿児島	355	82	291	64	14	104	112	42	117
沖縄	1	34	0	106	0	100	46	△ 1	0

注) 農林水産省大臣官房統計部・農林水産統計Webサイト(平成29年2月21日公表)より引用。△は減少。